学校番号	３２５

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	4	年次	1
使用教科書	「新探求国語総合」（桐原書店）現代文・表現編　／ 古典編						
副教材等	わかる・読める・解ける　古文単語３３０【三訂版】（いいずな書店） 読解現代文必携　キーワードの卵（尚文出版） 古典常識も学べる　新明説総合古典文法（尚文出版） 古典常識も学べる　新明説総合古典文法ノート（尚文出版） 新版二訂　ニューエイジ古典　基礎１（第一学習者） 力をつける　現代文　ステップ　１．５（数研出版） ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ

・３年間で社会人に必要な国語の力を身につけるためには、１年生の内容が基本となるため手を抜かずしっかり学習を行いましょう。
・聞くだけの授業にならないよう、アクティブな活動も取り入れた授業を行いたいと考えています。
・提出物は必ず出しましょう。
・小テストや宿題や授業を大切にするといった、あたりまえのことを継続して行いましょう。

2　学習の到達目標

・状況に合わせ適切な表現ができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力・豊かな想像力を身につけることができる。
・物語を読み、登場人物の心情を理解することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、正しく読み、理解することができる。
・自分の意見や考えを他人に伝えることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深めようとしている。	状況に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じて適切な表現を用いて文章を書き、自分の考えをまとめている。	文章を的確に読み取り、自分の考えを深め発展させている。	伝統的な言語文化や言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワーク、マイメモリー等）	授業時の発表 記述の点検 （ノート、ワーク、マイメモリー等） 定期考査	記述の点検 （ノート、ワーク、マイメモリー等） 定期考査	記述の点検 （ノート、ワーク、マイメモリー等） 定期考査 小テスト	記述の点検 （ノート、ワーク、マイメモリー等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点に立って、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	【近代以降】 教材: 「旅する力」 教科書では書かれない、環境の変化に対応するための考え方、ものの見方を考える。	○		◎	◎	○	a:教材に興味を持ち、自分自身の具体的な経験と結びつけて考えようとしている。 c：全体の内容をつかみ、要約ができる。 d:各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。 e:語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a、観察とノート c、記述点検 d:e ノートと定期考査
	評論	【近代以降】 教材: 「ふしぎと人生」 「近代科学」の発展によって無視されてきた「神話」の意義について、作者の考えをまとめる。	○		◎	◎	○	a:人類は、「ふしぎ」に感じたことをどのように説明してきたか、また、「科学文明」の進歩と「神話」の関係について理解できている。 c：全体の内容をつかみ、要約ができる。 d: 各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。 e: 語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:観察とノート c:記述点検 d:e ノートと定期考査
	文明への視点	【近代以降】 教材:「サイボーグとクローン人間」 科学技術の発展、文明の進歩が、人間の価値観や世界観にどのような影響を及ぼすのか、さらに望ましい姿は何かについても考える。	○	◎	◎	◎	○	a:「サイボーグとクローン人間の違い」について、 関心を持ち、考えようとする。 b：グループを作って「サイボーグやクローン人間」に象徴される科学技術、文明の進歩が、人間の価値観や世界観にどのような影響を与えるか、調べたことや考えたことを発表する。 c:グループで出た意見を一枚のフリップにしてまとめる。 d: 各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。 e: 語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a観察とノート b･c 観察と相互評価 d、e: ノートと定期考査
	小説	【近代以降】 教材:「夢十夜」 表現が象徴する意味を読み取り、人物の心情について考える。	○		◎	◎	○	a:作品に興味を持って意欲的に学習に取り組む。 c：全体の内容をつかみ、要約ができる。 d：人物の心情や、表現が象徴する意味を読み取ることができる。 e: 語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きできる。	a観察とノート c、記述点検 d･e ノートと定期考査

	古文入門	【古典】 教材: 「児のそら寝」 「検非違使忠明のこと」 「竹取物語」 　なよ竹のかぐや姫 歴史的仮名遣い、五十音、いろは歌、文語の動詞の活用など、比較的優しい古文の味わうとともに、基本的な文法事項を理解する。	○			◎	○	a:古文について、興味をもって取り組む。 d:文章に描かれているストーリーや人物の心情を読み取る。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:観察とノート d:e: ノート 小テスト 定期考査
2学期	評論	【近代以降】 教材:「言葉の力」 大げさな言葉よりも、ささやかな言葉がしばしば人を深く揺り動かす事実があるように、言葉の持つ性質や力について考える。	○		◎	○	○	a:筆者の文章に書かれていること以外にも、詩などの例を挙げながら、ささやかな言葉が心を揺さぶることを理解している。 c:全体の内容をつかみ、要約ができる。。 d：文章の構成を理解し、内容を把握している。 e:著名な詩人の技巧について知る。	a、観察とノート c:記述点検 d･e 　ノート 　定期考査
	評論	【近代以降】 教材: 「美しさの発見」 「美しさ」は対象に内在するものなのか、見る人が「発見する」ものなのか、筆者の主張について考える。	○	◎		◎	○	a:「美しさは内在する」という考え方と、「美しさを発見する」という考え方の違いを理解している。 b:グループで読後感を話し合う。 d：文章の構成を理解し、内容を把握している。 e:　語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きできる。	a:観察とノート b観察と相互評価 d、e: ノート 定期考査
	小説	【近代以降】 教材: 「羅生門」 人間の持つエゴイズムについて考える	○			◎	○	a:教材に興味を持ってエゴイズムについて考えようとしている。 c：全体の内容をつかみ、要約ができる。 d:　作品の舞台背景や表現の効果を理解している。 e:　語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きできる。	a:観察とノート c:記述点検 d、e: ノート 定期考査

	〈評論	【近代以降】 教材: 「わかろうとする姿勢」 「他者」を理解することの意味について、筆者の主張をおさえながら考える。	○		◎	◎	○	a: 教材に興味を持ち、「他者」を理解するとはどういうことか、何が必要なのか、考えることができる。 c：全体の内容の、要約と理解ができる。 d: 文章の構成を理解し、筆者の主張を把握している。 e: 語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きできる。	a 観察とノート c、記述点検 d、e: ノート 定期考査
	漢文入門・故事成語	【古典】 教材: 故事成語「推敲」 「知音」 訓読ができるようになり、書き下し文のきまりや基本的な句法を理解する。	○			◎	○	a:漢字や漢文に対する興味・関心を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 d:漢文が果たした役割や文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:観察とノート d:・e ノート 定期考査 小テスト
	古文の日記・物語	【古典】 教材: 「土佐日記」門出 「伊勢物語」 筒井筒 基本的な古語の意味と動詞、形容詞、形容動詞の活用、及び、基本的な助動詞の意味と訳し方、活用を理解する。	○			◎	○	a：本格的な古文について、情景や人物描写などに興味を持って読もうとしている。 d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。 また、旅や恋愛・結婚など、現代とは異なる時代背景について理解できている。	a:観察とノート d:e ノート :小テスト 定期考査
3学期	小説	【近代以降】 教材 「富嶽百景」 作品全体を「景」ごとに区切り、それぞれの富士に対する「私」の心情を理解する。 自分の身の回りの風景を見て「私の○○百景」を書いてみる。	○		◎	◎	○	a:作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 c:全体の内容をつかみ、要約ができる。 d：作品の舞台背景や表現の効果、「私」の心情を読み取ることができる。 e：語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きできる。	a観察とノート b観察と相互評価 C 記述点検 d、e: ノート 定期考査

	評論	【近代以降】 「経済の論理／環境の倫理」 年々深刻さを増してゆく「環境問題」にどのように対処していけばよいのか、筆者の主張を読み取り、「現在世代」であり、また「未来世代」であもある高校生の立場から考える。	○		◎	◎	○	a:教材に興味を持ち、身の回りだけでなく、地球的な規模で深刻さを増している環境問題に目を向けて考えようとしている。 c：全体の内容をつかみ、要約ができる。 d：各段落の要旨をつかみ、筆者の主張を理解している。 e：語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きできる。	a:観察とノート c:記述点検 d:e ノートと定期考査
		【古典】 「徒然草」 ある人、弓射ることを習ふに 丹波に出雲といふ所あり 古語の意味と用言の活用、及び、基本的な助動詞の意味と訳し方と活用を理解する。 また、兼好法師の主張を読み取る。	○			◎	○	A 教材に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。。 d:筆者の主張の展開に即して内容を理解している。 e:古文の読解に役立つ文語文法を身につけている。 古語の意味や文法の知識をもとに、現代語訳にチャレンジしている。	a:観察とノート d: e: ノート 定期考査
		【古典】 「平家物語」 木曽の最期 古語の意味と用言の活用、及び、基本的な助動詞の意味と訳し方、活用を理解する。 また、木曽義仲、今井四郎、巴、それぞれの心情を読み取る。	○			◎	○	a:教材に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。。 d:話の展開に即して内容を理解している。 登場人物の心理の推移に注目しながら読んでいる。 古語の意味や文法の知識をもとに、現代語訳にチャレンジしている。 e:古文の読解に役立つ文語文法を身につけている。 平家物語について文学史上の位置づけを理解する。	a:観察とノート d、e: ノート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。